



北海道北見支援学校

学校だより

第4号

令和8年3月24日（火）発行

教育目標：一人一人の児童生徒が自立し、社会参加するための教育をめざす
☆生活する力 ☆協力する力 ☆はたらく力 ☆とりくむ力

「1年を振り返って」

校長 土居 彰一

季節の移ろいととも、本年度の教育活動も静かに幕を閉じようとしています。この一年、北見支援学校で過ごした日々は、子どもたち一人一人にとって、かけがえのない成長の時間であったと、心から感じています。

子どもたちは、それぞれのペースで挑戦を重ねてきました。初めは不安そうだった表情が、少しずつ自信に変わり、できなかったことに取り組もうとする姿へと変化していく様子は、私たち教職員に多くの感動を与えてくれました。失敗しても立ち止まりながら、また一步踏み出すその姿は、何よりも尊い学びの姿でした。

学習活動においては、「分かった」「できた」という小さな喜びを積み重ね、自分の力を信じる心を育ててきました。生活の場面では、挨拶や身支度、友達との関わりなど、日々の積み重ねの中で確かな成長が見られました。

学校行事や校外活動では、仲間と協力し合い、同じ目標に向かって取り組む経験をとおして、喜びを分かち合うことの大切さを学びました。時には思いどおりにいかず、涙を流すこともありましたが、その一つ一つの経験が、心の強さとなっていきました。

保護者の皆様には、日々の家庭での支えと、学校への温かなご理解をいただき、子どもたちの成長を共に見守り、子どもたちが身に付けた力を確かなものにしていくための「共育」(連携して子どもの教育を行う)に携わっていただきました。悩みや不安を抱えながらも、子どもたちを信じ続けてくださったその姿は、私たちにとっても大きな励みでした。

また、地域の皆様の温かなまなざしと支えが、子どもたちの学びの場をさらに豊かなものにしていただきました。学校は決して一人では成り立たず、多くの人の思いに支えられていることを、改めて実感した一年でもありました。

まもなく子どもたちは、新たな学年、新たなステージへと進みます。これまで積み重ねてきた経験は、目には見えなくとも、確かに心の中に根付き、これからの人生を支える力となっていくことでしょう。

本校はこれからも、一人一人の可能性を信じ、寄り添い続ける学校でありたいと願っています。子どもたちが自分らしく輝ける未来を、私たちは心から応援しています。

結びに、本年度の教育活動に関わってくださったすべての皆様に、深い感謝の気持ちを込めるとともに、これからも、保護者の皆様、地域の皆様と共に、子どもたちの豊かな未来につながる教育を進めるため、皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

小学部 3学期の学習の様子

今年度は、例年使っている雪遊びスペースが利用できませんでしたが、年末の大雪の際に中庭に小さな雪の滑り台を作り、そり滑りを楽しみました。大きな山ではありませんでしたが、友達と一緒に何度も滑り、夢中になって遊ぶ姿が見られました。他にも、雪玉を作ったストラックアウトや、雪上に穴を開けてのパターゴルフ、型に雪を詰めて作ったケーキ屋さんごっこ、冬ならではの遊びを体験しました。雪遊びの回数を重ねるうちに、中庭へ出ると「今日はこれで遊ぼう!」と、自分のやりたい遊びに向かって元気に走り出す姿も見られるようになりました。「おしまい、お片付け」の声が掛かると「まだ遊びたい!」と残念そうにするほど、夢中になって楽しんでいました。寒い冬でしたが、子どもたちは元気いっぱい。時には汗だくになるほど体を動かし、友達と関わり合いながら楽しい冬の遊びの時間を過ごすことができました。

(文責:鈴木菜)

中学部 3学期の学習の様子

中学部の3学期といえば受検です。3年間をとおして進路の学習をしながらそれぞれの進路先を決め受検に臨みました。すでに2学期中に合格をした生徒もいましたが、北見支援学校高等部を受検した生徒は2月12日に合格を確認し、見事中学部3学年14名全員が希望した受検校に合格をすることができました。4月からは新しい環境で、新しい仲間と一緒に頑張りたいと思います。

先日3月12日には、卒業を祝う会が行われ、1・2年生が卒業生のために企画・運営に取り組みました。当日は、宝探しゲームやビンゴゲーム、プレゼント贈呈など様々な企画があり、卒業生もよい思い出ができたと思います。先輩の姿を見ながら学んできた1・2年生は、来年度は新1年生のお手本として更に活躍できることを期待しています。

(文責:平野裕)

高等部 3学期の学習の様子

2月13日(金)、柏陽高校器楽局の生徒25名が来校し、高等部の生徒と「交流及び共同学習」を実施しました。この日を楽しみにしていた生徒たちは、期待と少しの緊張が入り混じった表情で当日を迎えました。

まず3つのグループに分かれて交流が始まり、器楽『銀河鉄道999』を練習しました。初めこそ緊張した様子もありましたが、音を重ね、身振り手振りを交えて意見を出し合う中で、次第に打ち解け、「今のリズム良いね」「次はこうしよう」などと音楽で心が通い合う瞬間を間近で見ることができました。

続く発表の時間では、各グループが練習の成果を存分に披露しました。グループごとに使用する楽器を変えて演奏したことで、それぞれの楽器の音色の重なりや響きの違いを肌で感じる事ができ、音楽の多様な表現のおもしろさを共有することができました。

さらに、全体合唱『スマイルアゲイン』では、高校生同士の歌声を体育館いっぱいに響き渡りました。歌い終えた瞬間に自然と沸き起こった温かな拍手は、会場を感動で包み込みました。また、柏陽高校器楽局による吹奏楽演奏の鑑賞では、吹奏楽ならではの迫力ある音楽を全身で堪能することができました。

音楽交流を終えた生徒たちの表情には、確かな達成感と充実感があふれていました。「楽しかったね」「また一緒に演奏したいね」などと自然に言葉を交わす姿から、活気とぬくもりに満ちた絆を感じる事ができました。

(文責:福井)

保護者引き渡し訓練シュミレーションを行いました

災害時、児童生徒の下校手段の把握及び対応について、今年度の新たな取組として保護者引き渡し訓練シュミレーションを行いました。2回の教職員研修を経て、3回目に児童生徒も一緒に訓練を行いました。今後、実際に保護者の方々にもご協力いただきながら訓練を実施したいと考えています。

(総合生活部)

転出・退職される先生方からのご挨拶

教 頭
林 英孝

「みんなの力が 集まって 楽しく元気に 学び合う」聞いたことがありますね。そうです。北見支援学校の校歌(歌詞)の一部です。この歌詞のように、児童生徒が笑顔で、真剣に学習に取り組む姿はとてもすてきでした。また、友達や先生と一緒に遊んだり、話したり、作業したりする中で日に日に表情が豊かになり、できることや自主的な行動が増え、着実に成長する姿を見ることができ、とてもうれしかったです。この調子で、もっともっと『すてきな北見支援学校』をつくってください。

保護者の皆様には、在職中大変お世話になりました。今後も、学校教育活動にご理解とご協力をいただきますよう心よりお願いいたします。

小学部
青山 未怜

本校で過ごした5年間は、私にとって学びの多い日々でした。新卒2年目で赴任し、右も左も分からない中でのスタートでしたが、子どもたち一人一人との向き合い方について多くのことを学ばせていただきました。子どもたちと一緒に「できた」喜びを分かち合えた瞬間は、かけがえのない宝物です。4月から稚内養護学校に異動いたします。全校児童生徒約30名の学校で、一人一人とより丁寧に向き合える環境の中、これまでのご縁と学びを大切にしながら、新たな気持ちで努めてまいりたいと思います。これまで温かく支えていただきましたことに、心より感謝申し上げます。

小学部
杉山 志保

ご縁があり、北見支援学校で初めて特別支援教育に携わることになり、約10年間お世話になりました。子どもたちと一緒に試行錯誤しながらいろいろなことに挑戦し、積み重ねて、ぐん！！と成長する場面に出会えたときは、心の中でガッツポーズ。真剣勝負の毎日はとっても濃く、楽しく、感情を素直に見せてくれる子どもたちとのやり取りや心からの笑顔が、たくさんのやる気と元気をくれました。挑戦して「できた！」ときの誇らしげな姿を新任地でも見られるよう尽力いたします。

保護者の皆様には、いつも温かく見守っていただきありがとうございました。これからも、子どもたち、そして子どもたちを支えるご家族の皆様が健康で笑顔あふれる毎日をご過ごせますことを心より願っています。

小学部

辻 百合香

校名変更前の分校時代より、足掛け18年お世話になりました。その間、たくさんの素敵な出会いに恵まれ、充実した毎日をご過ごすことができました。

高等部での勤務が長く、自らの意志で進路を決定し、社会人として巣立っていく生徒たちの姿を数多く見守ってきました。「人生は自分次第」とエールを送り続けてきた日々は、私にとってかけがえのない財産になりました。

今年度は、小学部で元気な子どもたちと笑顔あふれる楽しい日々を過ごし、教育の原点に立ち返るような充実した一年となりました。

この学校で学んだことを生かし、新天地でも精進して参ります。長い間、本当にありがとうございました。

中学部
安田 誠

クラスを担当しているときは、日々試行錯誤の連続なのですが、いざ終わるとなるといつも寂しくて、「来年もみんなと一緒に過ごしたい！」「離れたくない！」と心から思っていました。今年度は初めて経験することや挑戦することも多く、たくさん悩みながら無我夢中で駆け抜けた1年間でした。しかしその分、子どもたちの笑顔に何度も救われ、たくさんの素晴らしい経験をとおして、大きく成長することができた1年だったと感じています。

お別れすることは本当に寂しいですが、ここで皆さんから学んだことを胸に、新しい場所でも頑張っていきたいと思っています。これまで私と一緒に過ごしてくれたすべての児童生徒、そして温かく支えてくださった保護者の皆様、先生方に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

高等部
水島 南美

北見支援学校に来て5年がたちました。5年前中学部2年生で出会った生徒たちは、今年の3月に卒業し、社会に羽ばたいていきました。

この5年を振り返ると、子どもたちと保護者のみなさんに助けられた毎日だったなと思います。「あ、忘れてた！」みたいなこともありましたが、子どもたちと一緒に小さな「できた」を積み重ねるために、頑張り続けた日々は私にとって大きな宝物になりました。保護者のみなさんには心配をおかけすることもあったと思います。温かく見守り、ときには、優しくフォローしていただきありがとうございました。

美深高等養護学校という新しい環境にドキドキしておりますが、これからも子どもたちと楽しく成長できるように頑張ります！これまで本当にありがとうございました。

高等部
崇田 篤

北見支援学校には、5年間お世話になりました。みんなと一緒に勉強したり、遊んだりできてとても楽しい毎日でした。多くのことをみんなから学びました。4月から稚内養護学校にいきますが、みんなから学んだことを大切にしながら頑張りたいと思います。稚内からみなさんのことを応援しています。

保護者の皆様におかれましては、至らぬ点もありながら温かく見守っていただきありがとうございました。

頑張り屋で素直な生徒たち、様々な場面でご協力、支えていただいた保護者の皆さん、強い愛情を持った先生方、北見支援学校で出会った全ての方に感謝しています。ありがとうございました。

高等部

山村 聖人

子供たちと一緒に過ごした笑顔いっぱいのハッピータイムと苦難の壁が立ちほだかる修行タイムの日々により、レベルアップさせていただいた5年間でした。

北見支援学校で得た経験から中札内高等養護学校という次のステージでも努力していきます。北見支援学校に縁のある皆さんの幸せを心から願っています。ありがとうございました。

3年間勤めて参りました北見支援学校を、離れることとなりました。特に高等部1年生の皆さんと共に過ごした、初めて尽くしのワクワクドキドキの日は、私にとって忘れられない思い出です。小・中学部の皆さんも、校内ですれ違うときにいつも元気に挨拶をしてくれました。その愛らしい声と笑顔から、毎日元気をもらいました。

高等部

中畠 由佳

児童生徒の皆さん、自分らしさを大切に、未来に向かって歩み続ける皆さんを、これからもずっと応援しています。

最後になりますが、保護者の皆様の温かな支えのもと、共にお子様の成長を見守らせていただきましたこと、本当にありがとうございました。

このたび60歳を迎えたことを機に退職する運びとなりました。本校勤務は4年間でしたが、高等養護学校勤務から始まり、小学部、中学部、高等部、訪問学級とたくさんの子供たちと過ごすことができ、たくさんの保護者の方々とお話をさせていただきました。一緒に笑ったり、悩んだり、時には意見がぶつかったりといろいろな経験のなか、それらは自分の世界を広げることにもつながりました。経験年数は増えても、まだまだ知らないことばかりだと感じることも多々…。

中学部

渡部 淳子

37年間、担任を始め、様々な仕事をさせていただいたことに感謝しています。ありがとうございました。山あり谷ありでしたが、個性豊かで真っ直ぐな子供達と向き合うこの仕事がやっぱり好きだなあと思います。お世話になりました。

高等部2年間、小学部1年間勤務させていただきました。たくさんのお子様たちと一緒に学んだり、遊んだり、毎日何気ない話をしたり、その時間が楽しくとても勉強になりました。

小学部

藤井 誠

保護者の皆様に温かいご支援とご協力をしていただき、心より感謝申し上げます。

新任校におきましても、これまでの経験を生かし、子どもたちの成長のために尽力してまいります。3年間お世話になりました。

1年間という短い期間でしたが、大変お世話になりました。

小学部

田中 思佳

毎日違う表情を見せてくれる子どもたちは、私の活力になっていました。「今日はどんな気分だろう」「今日は楽しかったかな」そんなことを考えながら子どもたちと向き合う毎日が本当に楽しく、私の大好きな時間でした。

保護者の皆様におかれましても、日々温かいお言葉をかけていただき、ありがとうございました。お子様の貴重な1年に携わらせていただけたこと、改めて感謝を申し上げます。

北見支援学校での経験を生かし、次のステップに進んでいこうと思います。ありがとうございました。

皆様には大変お世話になり厚く御礼申し上げますとともに、ご卒業、進学・進級を心からお祝い申し上げます。私は中学部付きとして主に1年生と関わらせていただきました。入学式の少々緊張した面持ちをはじめ、諸行事での頑張りやいきいきと活動する姿は忘れることはないでしょう。そして2年生、3年生…へと。

中学部

加藤 博己

まだまだ道のりは長くて遠い、けれどもあつという間に過ぎてしまう現実。君たちは何を感じ学んでいくのでしょうか。やさしい思いやりのある人と願い、応援を胸に刻み最後の退勤をするとしようか。

北見支援学校での二年間はあつという間でした。その中でたくさんのお子様たちと出会い、楽しい思い出をつくることができました。子どもたちが笑顔でその日一日を過ごせるように、保健室から見守ってきました。私は、子どもたちの周りの大人の機嫌が良いことが大切だと思っています。笑顔があふれ、包み込まれるような温かい空気感があれば、子どもたちは安心して大らかに、そして、優しさをもち育っていきます。これからは、いつものように“大丈夫だよ！”と伝えられませんが、遠くからみなさんの幸せを祈っています。

養護教諭
秦 千恵

◆春休み中に緊急の連絡がある場合

事故やけがなど、緊急時に連絡が必要になったときは下記連絡先にご連絡ください。

なお、平日17時以降は学校の携帯電話にお掛けください。

☆学校電話 0157-61-0071 または 0157-61-0047

☆学校携帯 080-1865-7249 *10回呼び出し音の後、教頭に転送されます。

卒業式では、卒業生たちが堂々と卒業証書を受け取り本校の学部を卒業していきました。

卒業・進級おめでとうございます。事故や病気に気を付けて春休みを過ごしてください。

(文責:崇田)